

柏市地域公共交通網形成計画の進捗状況と これからの方向性について

令和5年8月3日
柏市交通政策課

柏市地域公共交通網形成計画（平成31年2月策定）

■計画の目的

超高齢社会に対応した持続可能な都市を目指すため、まちづくりと連携した公共交通網の整備を進めるもの

■計画期間

2018年度～2037年度

短期：2018年度～2022年度 ⇒ 昨年度終了

中長期：2023年度～2037年度

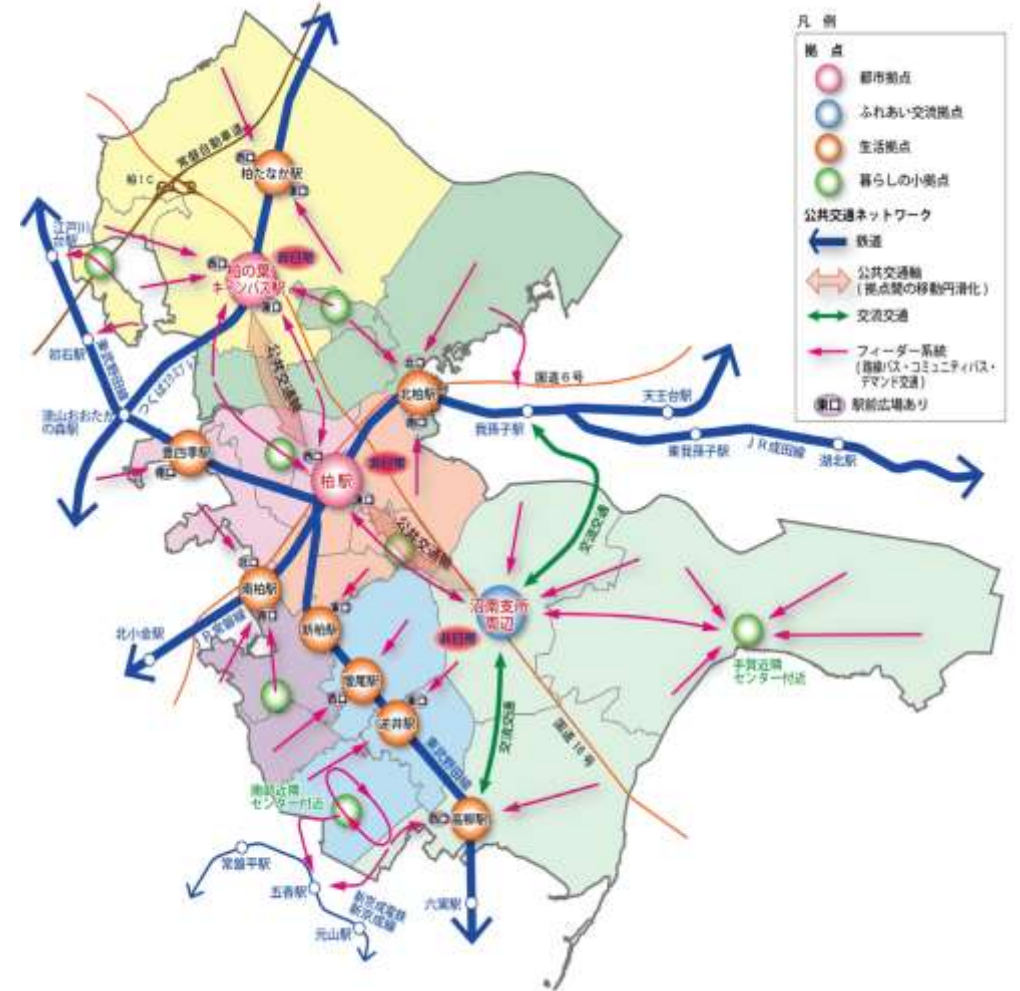
今年度評価

■基本方針

次の5つの視点を踏まえ、取り組みを進めます。

- ①地域の状況に応じたバス路線の再編
- ②交通モード間の円滑化
- ③高齢者等に配慮した交通環境の構築
- ④中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存
- ⑤公共交通利用促進

目指すべき公共交通ネットワークイメージ



短期施策（2018年度～2022年度）一覧

	検討の方向性	短期施策	施策内容
①	地域状況に応じたバス路線への再構築	A. 公共交通軸の強化	乗降客の状況を考慮しつつ、公共交通軸（柏の葉キャンパス駅～柏駅～沼南庁舎周辺）の利便性・速達性の向上を図ります。
		B. 企業バス等との連携検討	交通弱者などの移動手段として、病院や商業施設などが独自で運行している送迎バスの活用検討を進めます。導入に際しては自動運転等の新たな技術についても検討を行います
		C. コミュニティ交通の運行形態見直し	現在運行している「かしわ乗合ジャンボタクシー」「カシワニクル」の再編により、更なる利便性の向上を図るとともに、周知施策を実施します。
		D. 公共交通空白不便地域における対応策の検討	市内の公共交通空白不便地域において、地域の需要に対応した、公共施設や商業施設等へのアクセスを検討します。
②	交通モード間の円滑化を推進	E. 駅前広場の待合環境整備	駅前広場を中心にバス、タクシー乗場の利用環境改善のため上屋、ベンチの整備を図ります。
		F. ICTを活用した情報案内の実施	鉄道やバスの乗り継ぎ、運行案内のため、統合サイトやアプリの整備を行うほか、来訪者でもわかりやすいよう、交通結節点での情報案内の構築を図ります。
③	高齢者等に配慮した交通環境の構築	G. 車両バリアフリー化の促進	バリアフリー化をいっそう促進するためにノンステップバス、ユニバーサルデザイン（UD）タクシーの導入を促進します。
④	中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存	H. ショットガン方式のタクシープール導入	柏駅東口周辺道路の客待ちタクシー列を解消するため、ショットガン方式によるタクシープールの導入を図ります。
⑤	公共交通利用促進	I. 公共交通の周知施策	柏市内小学校の授業において、バス事業者と連携してモビリティマネジメント教室を実施します。また、柏市バス路線マップの配布・作成を継続して実施します。

中長期施策（2023年度～2037年度）一覧

	検討の方向性	中長期施策	施策内容
①	地域状況に応じたバス路線への再構築	a. 公共交通軸のバス路線再編	柏駅を起点に柏の葉キャンパス駅又は沼南庁舎周辺を經由して他の地域まで一連の区間として運行しているバス路線について、幹線交通（公共交通軸区間のみの運行）及びフィーダー（支線）交通区間に再編します。
		b. 交流交通軸の強化	我孫子駅、高柳駅とふれあい交流拠点を繋ぐ交流交通を確保します。
		c. フィーダー系統路線の見直し	拠点に繋がるフィーダー系統については、地域の状況に応じて、路線の見直しを実施します。
		d. バス速達性向上のための道路整備促進	柏駅～柏の葉キャンパス駅を結ぶ新たな都市計画道路を整備します。
		e. 新たな交通サービスの提供	将来のまちづくり等も踏まえた、魅力ある新交通システムの検討を行います。ICTの活用や自動運転等の新たな技術に関する検討も行います。
		f. 公共交通空白不便地域における公共交通の適切な見直し	コミュニティ交通に関して、地域の状況に応じて見直しを実施し、より適切な運行の検討を行います。公共交通空白不便地域をカバーする交通については、地域住民が主体となった協議会との協議・連携を踏まえ、確保を図ります。
		g. 周辺施設との連携検討	商業施設等と連携して、公共交通を利用した来訪者への支援策を実施します。
②	交通モード間の円滑化を推進	h. 鉄道駅の交通結節点の機能強化	柏駅東西口、北柏駅北口、高柳駅東口駅前広場整備により鉄道と他の公共交通との結節点機能を強化します。
		i. 賑わいのある拠点の整備・強化	沼南のふれあい交流拠点の核として公共交通軸及び交流交通の受皿となるターミナルを整備します。
		j. 地域施設と連携した快適な待合環境の確保	バス路線沿道の公共施設や商業施設と連携し、待合スペースの確保や接近情報の提供を行い、安全で快適にバスを待つことができる環境づくりを進めます。
		k. サイクル&バスライドの促進	駐輪環境の整備により、サイクル&バスライドの促進を図ります。
③	高齢者等に配慮した交通環境の構築	l. 高齢者等の移動支援	高齢者等が公共交通を使いやすいよう、民間企業とも連携して支援制度の構築を図ります。
④	中心市街地活性化に向けた公共交通と自動車の共存	m. 中心部への自動車流入抑制	駅周辺の細街路等に自動車ができるだけ流入しないよう、交通処理を進めます。上の交通処理とあわせて、フリンジパーキング施策による自動車での来訪者の流入規制を図ります。
⑤	公共交通利用促進	n. 公共交通の周知施策	出前講座の実施など、協働で交通施策を推進するような意識付けを促す施策を実施します。

計画推進スケジュール

■進行の管理

社会経済環境の変化等により、当初期待された事業による影響・効果が発現しない可能性も考えられます。
 ⇒ 2020年度より、新型コロナウイルスの影響を受け、公共交通の利用状況に変化が生じています。

昨年度（2022年度）で短期施策が終了を迎えたため、その結果を踏まえて計画の評価を行いたいと考えています。



施策実施段階で改めて影響、効果を確認（Check）したうえで、必要に応じて施策内容を見直す（Action）というように、より良い効果発現に向けて、PDCAサイクルによる不断の努力により、継続的な施策の見直し、実施が必要となると考えています。

今年度は計画
を評価する年

表 5-5 評価・検証による計画推進のイメージ (年度)



※利用状況や経済性などの観点から進行の管理をしていきます。



短期施策A. 公共交通軸の強化

バス乗降客の状況を考慮しつつ、公共交通軸（柏の葉キャンパス駅～柏駅～沼南庁舎周辺）の利便性・速達性の向上を図ります。

実施主体：柏市，バス事業者
 実施時期：2019～2022年度

表 4-1 対象路線

数値は平日往復の合計（本）

路線記号	経路	幹線区間	系統	H30	R1	R2	R3	R4
柏 22	柏駅～沼南庁舎～小野塚台	各路線の 柏駅～沼南庁舎	柏 2 2	49	49	49	49	46
柏 25	柏駅～沼南庁舎～布瀬		柏 2 5	17	17	17	17	16
柏 27	柏駅～沼南庁舎～手賀の丘公園		柏 2 7	28	26	26	26	26
柏 31	柏駅～沼南庁舎～セブンパークアリオ柏～沼南車庫		柏 3 1	132	133	133	130	123
柏 35	柏駅～沼南庁舎～工業団地中央～沼南車庫		柏 3 5	32	33	33	33	31
柏 09	柏の葉キャンパス駅東口～柏駅	柏駅～柏の葉 キャンパス駅	柏 0 9	69	69	103	103	105
西柏 02	柏の葉キャンパス駅西口～柏駅		西柏 0 2	45	45	45	45	45



図 4-3 公共交通軸

指標	目標値
● 柏市内のバス運行本数	3,500本/日以上
● バス利用者数	約1,890万人/年以上（現況よりも5%以上の利用増加を図る。）

行き先	H30	R1	R2	R3	R4
沼南庁舎周辺 東武バス (5路線計)	258	258	258	255	242
柏の葉 キャンパス駅	114	114	148	148	150

短期施策A. 公共交通軸の強化

バス乗降客の状況を考慮しつつ、公共交通軸（柏の葉キャンパス駅～柏駅～沼南庁舎周辺）の利便性・速達性の向上を図ります。

【進捗状況】

指標	目標値	策定時	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
柏市内のバス運行本数 (本/日)*1	3,500	3,503	3,581	3,590	3,533	3,461	3,410
バス利用者数 (人/年)*2	18,900,000	18,000,000	18,535,880	19,769,838	16,441,350	14,413,182	15,769,907

【今後の方向性】

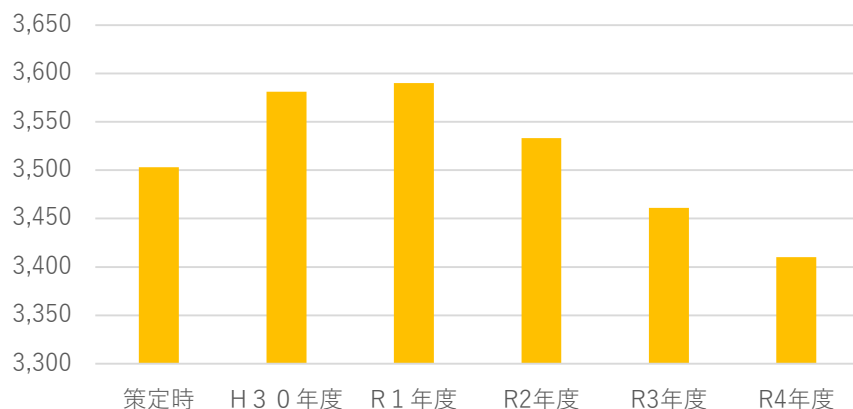
・アフターコロナの利用動向を注視しつつ、来年度から始まるバス事業者を対象とした『働き方改革』に則した運行本数やパターンダイヤの検討等、公共交通軸の利便性・速達性向上に努めていく。

*1 東武バスセントラル・阪東自動車・松戸新京成バス・ちばレインボーバスの、市内を通る便の合計値

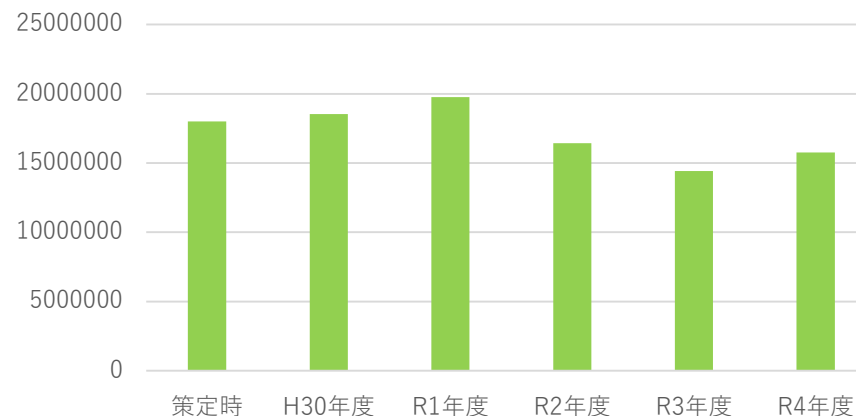
*2 東武バスセントラル・阪東自動車の、市内を通る便の利用者数の合計値

・バス運行本数は、R6(2024)年に施行予定の労働法改正を見据え、運行本数の調整を行っている。

柏市内のバス運行本数(本/年)



バス利用者数の変化 (人/年)



令和元年度に
比べ約8割程
まで回復

短期施策B. 企業バス等との連携検討

交通弱者などの移動手段として、病院や商業施設などが独自で運行している送迎バスの活用検討を進めます。導入に際しては自動運転等の新たな技術に関する検討を行います。

実施主体：柏市，商業施設事業者，病院，学校等
実施時期：2019～2022年度

■実証実験の自動運転バス



凡例

- 名戸ヶ谷病院
- 名戸ヶ谷我孫子病院
- 柏たなか病院
- 流山中央病院
- おおたかの森病院
- 柏厚生総合病院
- 千葉西総合病院
- 聖光ヶ丘病院
- モラージュ柏
- イオンモール柏

【進捗状況】

- ・東京大学シャトルバスが自動運転の実証運行を継続
- ・令和4年度，柏の葉地区の各種施設・機関・事業者等に，自動運転バスの導入に関するヒアリングを実施

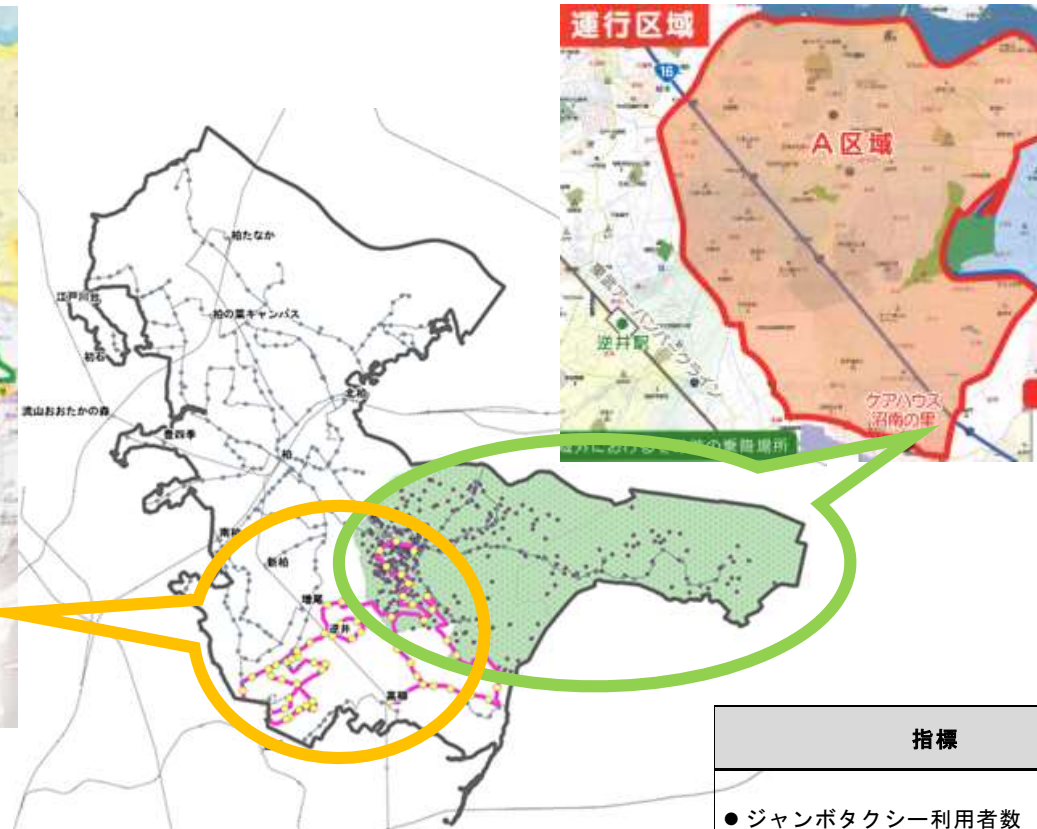
【今後の方向性】

- ・公共交通空白不便地域の対応策となる地域の移動手段の一つとして検討。
- ・商業施設バス・病院バス等の周知を検討。

短期施策C. コミュニティ交通の運行形態見直し

現在運行している「かしわ乗合ジャンボタクシー」、「カシワニクル」の再編により、更なる利便性の向上を図るとともに、周知施策を実施します。

■かしわ乗合ジャンボタクシー・カシワニクル運行図



指標	目標値
●ジャンボタクシー利用者数	コミュニティ交通利用者：約52,400人/年以上（現況よりも5%以上の利用増加を図る）
●カシワニクル利用者数	

短期施策C. コミュニティ交通の運行形態見直し

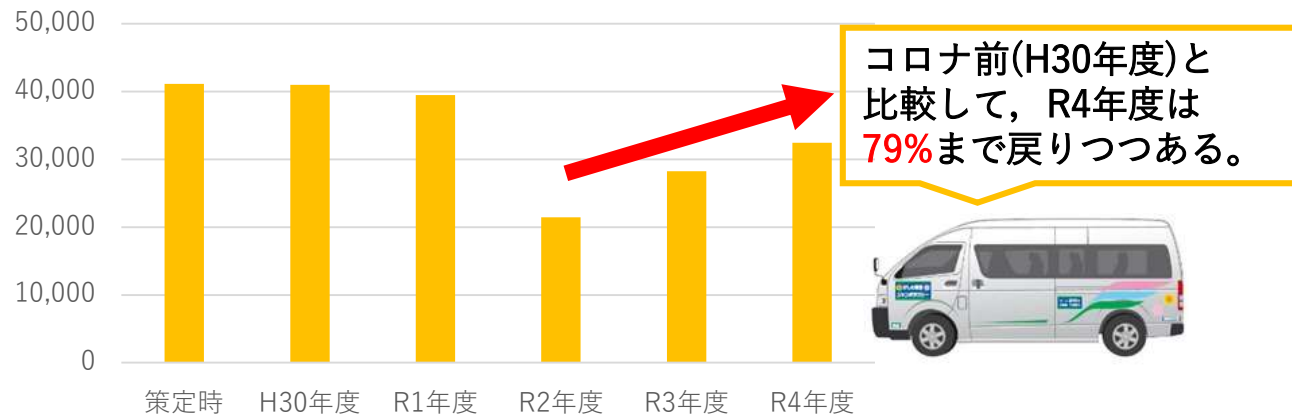
現在運行している「かしわ乗合ジャンボタクシー」、「カシワニクル」の再編により、更なる利便性の向上を図るとともに、周知施策を実施します。

【進捗状況】

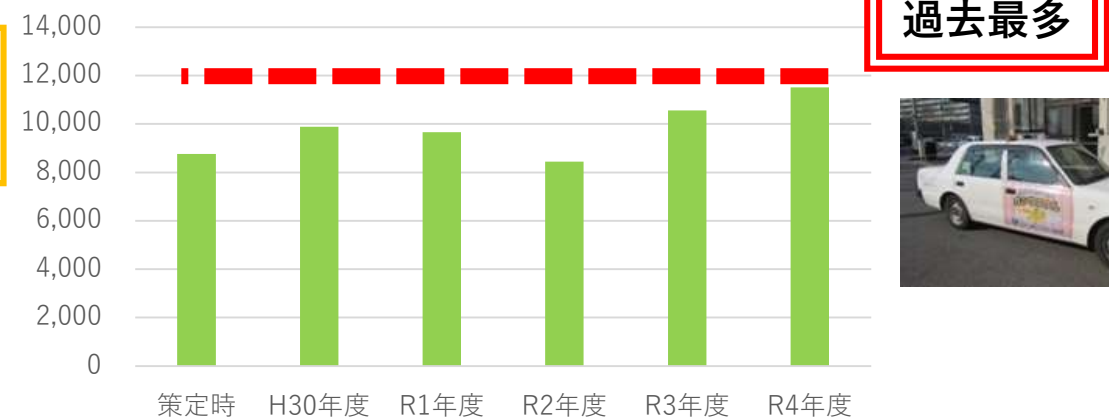
指標	目標値	策定時	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
ジャンボタクシー 利用者数(人)	-	41,135	40,990	39,497	21,450	28,230	32,465
カシワニクル 利用者数(人)	-	8,766	9,881	9,663	8,444	10,555	11,508
計	52,400	49,901	50,871	49,160	29,894	38,785	43,973

・コロナの影響で一時利用者数が落ち込んだものの、ジャンボタクシーは利用者が戻りつつある。カシワニクルは、昨年度に引き続き、利用者数が過去最多を更新

ジャンボタクシー利用者数(人/年)



カシワニクル利用者数(人/年)



短期施策C. コミュニティ交通の運行形態見直し

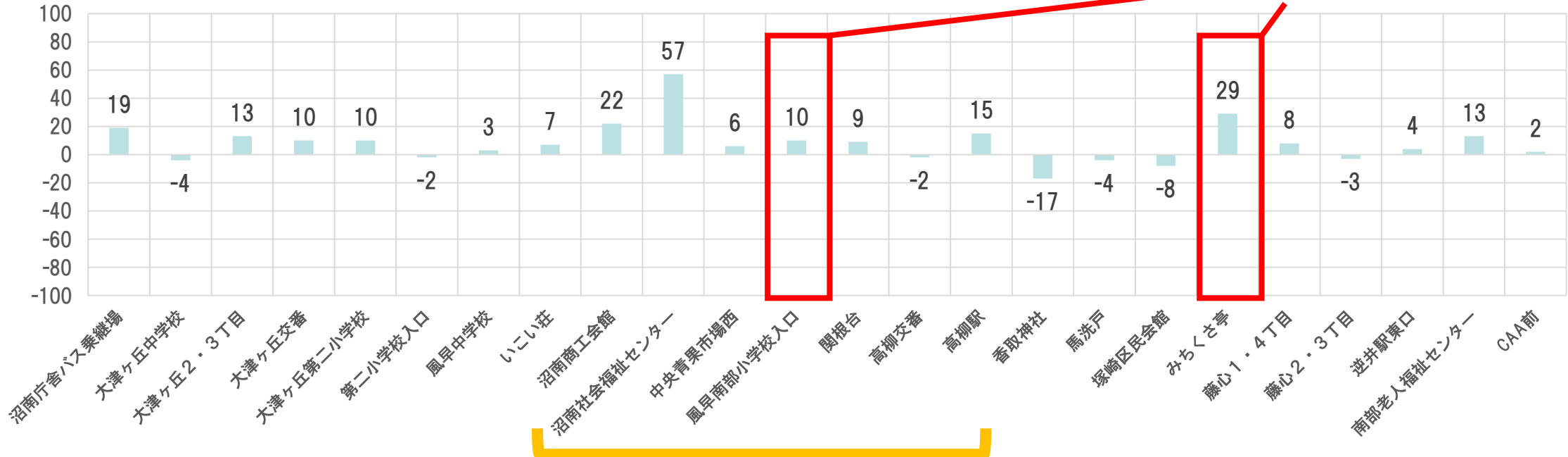
現在運行している「かしわ乗合ジャンボタクシー」, 「カシワニクル」の再編により、更なる利便性の向上を図るとともに、周知施策を実施します。

ジャンボタクシー
 ・令和5年2月よりルート・ダイヤ変更
 ・愛称・バスラッピングは今年度中の実施に向けて調整中

「R4.2～R5.1の月平均利用者数」
 - 「R5.2～R5.6の月平均利用者数」

月平均利用者数の増減（変更後－変更前）

新設バス停



短期施策D. 公共交通空白不便地域における対応策の検討

市内の公共交通空白不便地域において、地域の需要に対応した、公共施設や商業施設等へのアクセスを検討します。

実施主体：柏市，バス事業者，タクシー事業者
 実施時期：2019～2022年度

指標	目標値
● 公共交通空白不便地域の圏域	圏域：24.3%以下にする 可住地域内の公共交通空白不便地域解消を目指す。

【進捗状況】

- ・ 6地域12町会に対しヒアリングを実施済。買物支援タクシーの実証運行を開始した地域や、継続してヒアリングを行なっている地域あり。
- ・ 「とねっこタクシー」運行2年目を終了
- ・ 「やよいタクシー」令和5年7月より実証運行開始
- ・ 町会長会議にて買物支援タクシーについて紹介

【今後の方向性】

- ・ 地域主体の新規移動手段導入に関するガイドラインを作成し、市として受け入れ・支援の体制づくりを進める。

■公共交通空白不便地域

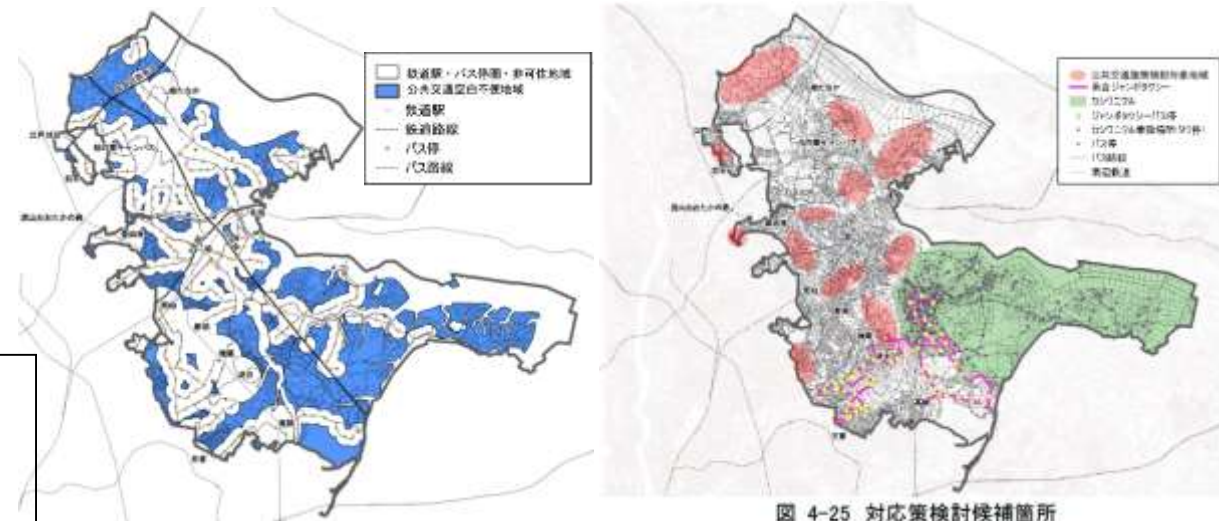


図 4-25 対応策検討候補箇所



協議会組織連携概念

短期施策E. 駅前広場の待合環境整備

駅前広場を中心にバス、タクシー乗場の利用環境改善のため上屋、ベンチの整備を図ります。

実施主体：柏市

実施時期：2020年度～

指標	目標値
● 駅前広場の乗換え環境整備	駅前広場の待合環境整備駅数：3 駅 ※市内全駅で上屋、ベンチ等を整備する。

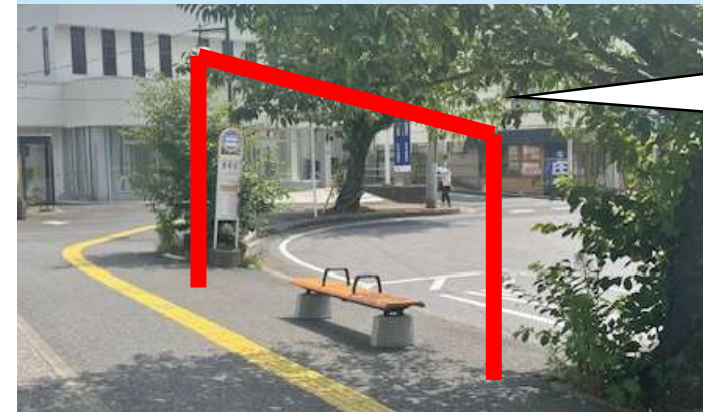
【進捗状況】

- ・令和2年度、柏駅東口にベンチを設置
- ・令和4年度、増尾駅西口・南柏駅東口にベンチを設置
- ・令和5年度、増尾駅西口に上屋を設置予定

【今後の方向性】

- ・上屋の設置についても、駅前広場の整備に合わせて検討していく。

増尾駅西口



令和5年度、上屋を設置予定

南柏駅東口



短期施策F. ICTを活用した情報案内の実施

鉄道やバスの乗り継ぎ、運行案内のため、統合サイトやアプリの整備を行うほか、来訪者でもわかりやすいよう、交通結節点での情報案内の構築を図ります。

実施主体：柏市，鉄道事業者，バス事業者

実施時期：2020年度～

指標	目標値
● ICTを活用した情報案内板の整備数	情報案内板の整備数：4個

■柏駅東口にデジタルサイネージを設置



駅改札の近くでバスの発着状況がすぐ分かります。

【進捗状況】

・令和4年度，柏駅東口のペDESTリアンデッキ上にデジタルサイネージを設置

【今後の方向性】

・情報案内板に限らず，運行情報の周知を進める



デジタルサイネージの設置を知らせたツイートは，7万回以上の閲覧があり，「乗り場に下りずに運行状況がわかるのは助かる」「うちの地域にも欲しいなあ」「これは良い！」などの好意的なコメントが多くあった。

短期施策G. 車両バリアフリー化の促進

バリアフリー化をいっそう促進するためにノンステップバス、ユニバーサルデザイン（UD）タクシーの導入を促進します。

実施主体：柏市，バス事業者，タクシー事業者
実施時期：2018年度～

指標	目標値
●ノンステップバス導入率	ノンステップバス導入率：90%を目指す
●ユニバーサルデザインタクシー導入率	ユニバーサルデザインタクシー導入率：3%を目指す

■ノンステップバス車両



■ユニバーサルデザインタクシー車両



■ユニバーサルデザインタクシー使用例



短期施策G. 車両バリアフリー化の促進

バリアフリー化をいっそう促進するためにノンステップバス、ユニバーサルデザイン（UD）タクシーの導入を促進します。

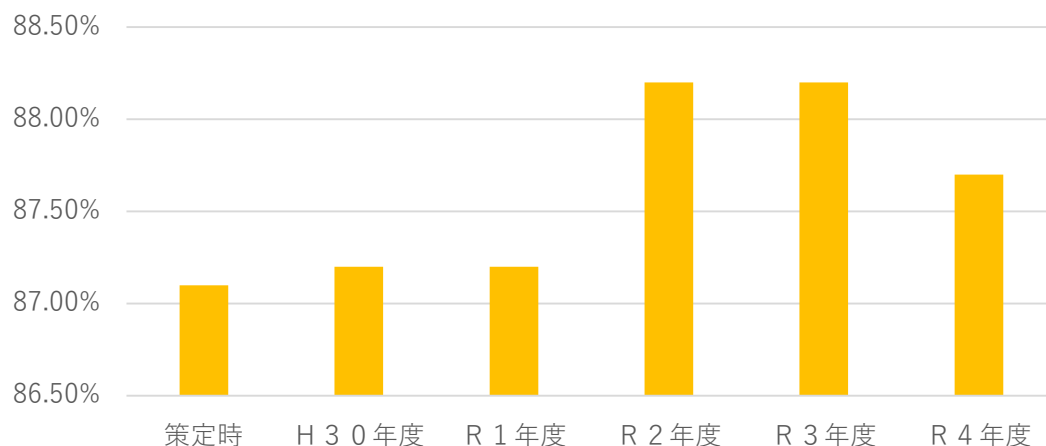
【進捗状況】

指標	目標値	策定時	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
ノンステップバス導入率	90.0%	87.1%	87.2%	87.2%	88.2%	90.7%	87.7%
ユニバーサルデザインタクシー導入率	3.0%	3.0%	7.2%	10.9%	16.0%	20.1%	22.7%

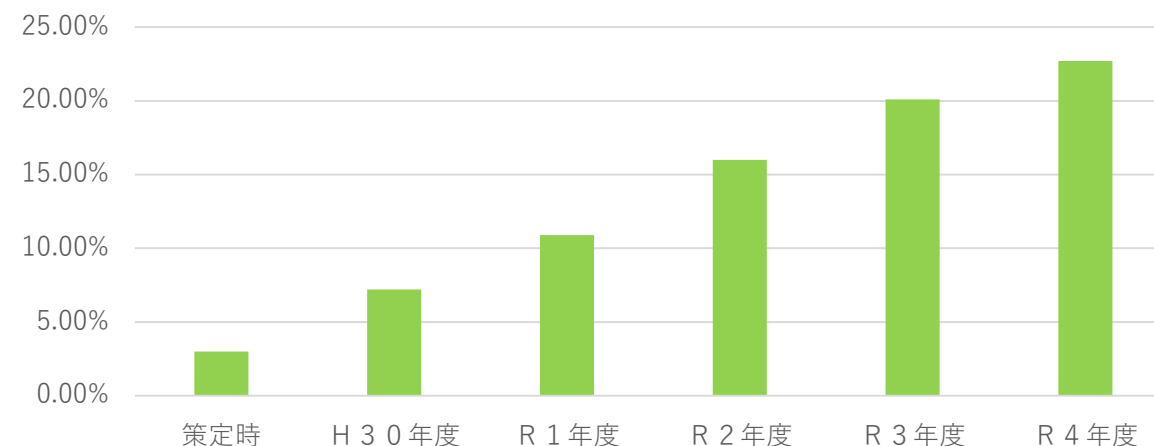
【今後の方向性】

- ・高齢者をはじめ、誰もが利用しやすい車両の導入を引き続き促進していく。

ノンステップバス導入率(%)



ユニバーサルデザインタクシー導入率(%)



短期施策H. ショットガン方式のタクシープール導入

柏駅東口周辺道路の客待ちタクシー列を解消するため、ショットガン方式によるタクシープールの導入を図ります。

実施主体：柏市，タクシー事業者
実施時期：2019～2022年度

指標	目標値
● タクシープールの導入 柏駅東口交通広場外の客待ちタクシー台数	柏駅東口交通広場外の客待ちタクシー台数：0台 社会実験の結果を踏まえ、恒久的に利用出来るタクシープールを導入することで、交通広場外のタクシー待機列解消を図る。

■ タクシー待機列の様子



【進捗状況】

・市役所の駐車場等，平面駐車場でのショットガン形式でのタクシープールを導入

【今後の方向性】

・コロナの影響もあり，タクシー利用者が減少傾向にあった昨今において，今後の利用状況も見ながら全体的な視点で検討していく。

短期施策I. 公共交通の周知施策

柏市内小学校の授業において、バス事業者と連携してモビリティマネジメント教室を実施します。また、柏市バス路線マップの配布・作成を継続して実施します。

実施主体：柏市，教育委員会，バス事業者

実施時期：2018年度～

指標	目標値
● 周知施策実施状況	バスマップ配布：2万部
	小学校でのモビリティマネジメント教室の実施：全校

【進捗状況】

指標	策定時	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
バスマップ配布	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部	20,000部
バス乗り方教室 (小学校2年生)	—	6校	6校	0校	0校	0校

【今後の方向性】

- ・ 柏市バス路線図マップの作成・配布を継続して実施する。
- ・ 令和5年度から，バス事業者と連携し，バス乗り方教室を再開する。

■ 柏市バス路線図マップ2022 ■ バス乗り方教室の実施風景

